

訪問介護員養成研修事業(2級課程)について

生活福祉科食物栄養専攻

小林 千恵子

これまで介護ヘルパー養成と称されていたのが、訪問介護員養成となり、耳に馴染まないようでもあります。内容としては、そんなに変わったわけではありません。兎も角もこの養成研修について認可されましたので、平成14年度も開講のはこびとなり、前年度と同じように、毎週土曜日を講座の時間として取組みました。

この土曜日開講ということは、そうでなくても目いっぱいのカリキュラムで、実習、実験、レポート作製に追われている学生にとっては、他の人達が休日としてそれぞれのことに利用しているのを、講座として終日を費やすことになるので、かなりの努力を要したものです。

一方、社会人の方にとっては、土曜日利用が大きな魅力であり、希望者が多く、直ぐに予定人数が超え、お断りせざるを得ない状況でした。中には学生とそのお母さんが一緒に受講という微笑ましい姿もありました。

前号でも述べたことですが、生活福祉科の食物栄養専攻として、栄養士の資格を取得する学生が、福祉のわかる栄養士であるために、この講座で学ぶことは、単に就職に有利であるとの軽い考えだけでなく、知識と人間性を深め、今後の人生に大いにプラスになると思います。



受理：2003年1月20日（成美学会）

介護についての学びで、対人間関係の理解、豊かな心づかひの出来る人物になるでしょう。少しの努力と決意で取得した「訪問介護員(2級)の資格を大切にしてほしいと願っています。



開講期間	平成14年4月13日 ~ 8月10日
修了式	8月17日
受講者数	43名 学生 23名 社会人 20名 (全員 資格取得)